

ジュニア・サミットから1年 進み始めた 世界に向けて開かれたまちへ



市長 伊藤 徳宇

昨年4月22日～28日に「2016年ジュニア・サミットin三重」がナガシマリゾートを中心に行われ、大成功に終わることができました。その際に関わっていただいた関係者の皆さんには心からお礼申し上げます。

開催から1年が経過し、桑名市も世界に向けて開かれたまちをめざして主に3つの大きな柱で取り組みを始めています。

1つ目は、MICE（国際会議）誘致。地域の活性化と経済効果を見込みます。

2つ目は、教育旅行の誘致。海外の学生と市内の学生との交流を図り、国際意識の向上を図ります。

3つ目は、英語教育の充実。フォニックスという発声方法を学んで語学力の向上を図っています。

これらの事業を重点的に実施し、これからも「世界に向けて開かれたまちづくり」を積極的に進めてまいりたいと思います。

① MICE（国際会議）の誘致

市は、地域経済に効果をもたらすMICE（国際会議）誘致をするため、県と連携し誘致活動をしてきました。今回、ジュニア・サミット後、初めて来年4月に5日間、350人が参加する国際会議の誘致に成功しました。

また、海外の人が市内企業を視察し、効率的な日本の企業経営や人材育成を学ぶ「産業観光」を推進しています。この産業観光の視察の受け入れをした企業からは「人に見られることを意識し、社

内がきれいになった」といった目に見える改善から「製造現場に従事する中で、新商品開発へのヒントを得た」など、実際の事業にも良い影響を与える声もあります。視察してもらえようという特別な取り組みはないと思われる企業が多いかもしれませんが、ぜひ興味のある企業はお問い合わせください。

〔問〕商工観光文化課
☎24-1231 FAX24-1140



①



③



②

- ①ドバイ政府関係者が市役所を訪問し、市役所の窓口システムなどを視察しました
- ②フランスの視察団が市内の刃物事業者を訪問し、工場などを見学しました
- ③市内初の国際会議ジュニア・サミットの討論風景

② 教育旅行の誘致

ジュニア・サミットを機に海外からの教育旅行（修学旅行）先を桑名に誘致するための取り組みを行っています。昨年10月には台湾の高雄市から視察団が桑名を訪問し、はまぐりプラザやNTN(株)などを視察しました。この機会をチャンスととらえ、今年の2月には三重県知事とともに高雄市を訪問し、誘致活動を行いました。その結果、今年の5月には高雄市の小学生が桑名を訪問する予定で、市内でホームステイをして日本文



①



③



②

化を感じたり、国際交流をしたりするいい機会となります。

今後、海外との交流を通して、桑名の子どもたちが国際的な幅広い視野を養うことができるよう誘致活動を積極的にを行います。

また、海外から訪れた学生などを受け入れてくださる市内のホストファミリー募集に向けた取り組みも進めています。詳細は、今後、広報等でお知らせします。

〔問 答 推 進 課〕
 ☎ 24-11258 FAX 24-12474

- ①②台湾の高雄市教育旅行視察団約30人が市を訪れ、ジュニア・サミットの視察先であるNTN(株)の環境整備などについて学びました
 ③知事、市長が台湾高雄市を訪問し、高雄市長に教育旅行の誘致活動を行いました

③ 英語教育の充実

小学校5・6年生と中学生を対象に、昨年の夏休み中の8月24日・25日と25日・26日の2グループに分かれ、オールイングリッシュで1泊2日の体験活動を行う、桑名イングリッシュキャンプを鈴鹿青少年センターで実施しました。107人が参加し、はじめは発音の声が小さかった子どもたちも、2日目には、英語で大きな声で会話をする姿が見られ、楽しい英語キャンプを過ごしました。

小学校5・6年生の外国語活動



①



③



②

で、JTE（小学校英語活動支援員）と担任が一緒に授業をする時間を紹介します。音声学習法であるフォニックスの視覚教材を使って、聞いた発音を繰り返したり、楽しく体を動かしながら発音したりして、英語に慣れ親しむ活動を行っています。英語で会話することに慣れ、将来は、桑名の良さを英語で伝えられる子どもたちの育成をめざしています。

〔問 答 指 導 課〕
 ☎ 24-11240 FAX 24-11358

- ①②フォニックスを使った授業風景。英語を聞いて、即座に発音して英語に慣れていきます
 ③イングリッシュキャンプでは、レゴブロックを使って物語の場面を創り、英語で発表しました。活動していくうちに英語に慣れ、仲良くなっていました